

新潟県中越沖地震発生による柏崎刈羽原子力発電所の主なプラント状況（ 7 月 2 3 日現在 ）

別紙

プラント情報（地震発生後全プラント停止）
本日までに全 63 件の事象を確認（地震に伴う原子炉自動停止 4 件は含まず）

1．放射性物質に係わる事象（15 件）

プラント名等	地震前	地震発生当時の状況	現在の状況
1 号機	停止 （定検中）	・ 主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。	ズレの大きさ、放射能の漏えい調査中（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 消火系配管が損傷し、原子炉複合建屋地下 5 階（最地下階、管理区域）に約 40cm の深さで水が溜まっていることを確認。（状況を確認中）	漏えい量約 1,670m ³ 、再漏えいを確認、放射能あり（ 7 月 19 日お知らせ済み） 消火系配管補修以降、水位（深さ）48cm（再計測） 確認 最大漏えい量約 2,000m ³
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	7 月 17 日お知らせ済み 7 月 23 日から水の拭き取りを実施
2 号機	起動中	・ 主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。	ズレの大きさ、放射能の漏えい調査中（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	7 月 17 日お知らせ済み 水の拭き取り計画中
3 号機	運転中	・ 主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。	ズレの大きさ、放射能の漏えい調査中（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	7 月 17 日お知らせ済み 7 月 20 日水の拭き取り完了
4 号機	運転中	・ 主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。	ズレの大きさ、放射能の漏えい調査中（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	7 月 17 日お知らせ済み 7 月 23 日から水の拭き取りを実施
5 号機	停止 （定検中）	・ 主排気筒に接続されているダクトにズレを確認、詳細を調査中。	約 4 cm 程度のズレ、放射能の漏えい調査中（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	7 月 17 日お知らせ済み 水の拭き取り計画中
6 号機	停止 （定検中）	・ 原子炉建屋内 3 階、中 3 階の非管理区域に漏えい水を確認、微量の放射能を確認。（ 3 階約 0.6 リットル、約 2.8×10 ² ベクレル / 中 3 階約 0.9 リットル、約 1.6×10 ⁴ ベクレル） →漏えい水が放水口経由で海へ放出。（放出量約 1.2m ³ 、放射エネルギー約 9 × 10 ⁴ ベクレル；海水モニタに変化なし）・・・現在、放出無し	7 月 16 日お知らせ済み 7 月 18 日訂正（訂正前：放射エネルギー約 6 × 10 ⁴ ベクレル）お知らせ済み 放出された核種は、コバルト 58 7 . 7 × 10 ³ ベクレル、コバルト 60 4 . 3 × 10 ⁴ ベクレル、アンチモン 124 3 . 5 × 10 ⁴ ベクレル（ 7 月 20 日お知らせ済み）
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	7 月 17 日お知らせ済み 7 月 23 日から水の拭き取りを実施

プラント名等	地震前	地震発生当時の状況	現在の状況
7号機	運転中	・ 主排気筒の定期測定（1回／週）においてヨウ素および粒子状放射性物質（クロム 51、コバルト 60）を検出。（検出された放射エネルギーは約 3×10^8 ベクレル）	7月17日お知らせ済み。監視強化のため、測定頻度を増した。詳細については 参考資料参照 。
		・ 原子炉建屋オペフロで水溜りを確認。	7月19日まで放射性物質に係わらない事象としてお知らせ済み。 7月20日再測定を実施したところ放射能が検出されたことから放射性物質に係わる事象とした。（7月20日お知らせ済み） <u>7月21日水の拭き取り完了</u>

2．放射性物質に係わらない事象（52件）

プラント名等	地震前	地震発生当時の状況	現在の状況
1号機	停止 （定検中）	・ 使用済燃料プールの水位低による運転上制限の逸脱および復帰。	7月16日お知らせ済み
		・ 励磁電源変圧器油漏れ（少量、継続中）基礎ベースからのズレあり。	漏油量は不明、漏えい少量継続中（7月17日お知らせ済み）
		・ 原子炉建屋二重扉電源断のため常時開にする。	冷温停止中のため運転上制限の逸脱なし（7月17日お知らせ済み）
		・ 非常用ディーゼル発電機(A)電気品室管理区域境界扉から非管理区域付近に水溜り。	漏えい量約4リットル、漏えい停止、放射能なし（7月17日お知らせ済み）
		・ 液体廃棄物処理系制御室制御盤電源喪失。	プラント監視支障なし（7月17日お知らせ済み）
		・ 所内変圧器1A・1Bと相分離母線接続部にズレ。基礎ボルトが折損。	ズレの大きさなど調査中（7月17日お知らせ済み）
		・ 変圧器防油堤の沈下・傾き、コンクリートのひび割れ・はく離、目地部の開き。	目地開き：10箇所、最大7cm（7月19日お知らせ済み）
2号機	起動中	・ 地震に伴い原子炉自動停止。	7月16日お知らせ済み
		・ 使用済燃料プールの水位低による運転上制限の逸脱および復帰。	7月16日お知らせ済み
		・ 主変圧器クーラ母管と本体間より油漏れ（継続中）基礎ボルト折損。	漏油量は不明、油抜き検討中（7月17日お知らせ済み）
		・ 励磁電源変圧器基礎部・電源母線用ダクト横ズレ。	ズレの大きさなど調査中（7月17日お知らせ済み）
		・ 取水設備スクリーン洗浄ポンプ起動不可。	7月17日お知らせ済み
		・ タービン建屋ブローアウトパネル外れ。	放射能の漏えいなし（7月17日お知らせ済み） 7月20日仮復旧済み（7月21日お知らせ済み）
		・ タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)の油タンク室内で油漏えい。	漏油量約800リットル、漏えい停止（7月17日お知らせ済み）。7月19日油回収完了。
		・ 変圧器防油堤の沈下、横ズレ。	横ズレ：1箇所、2cm（7月19日お知らせ済み）

プラント 名等	地震前	地震発生当時の状況	現在の状況
3号機	運転中	・ 地震に伴い原子炉自動停止。	7月16日お知らせ済み
		・ 使用済燃料プールの水位低による運転上制限の逸脱および復帰。	7月16日お知らせ済み
		・ 原子炉建屋ブローアウトパネルの外れにより運転上制限の逸脱および復帰。	7月16日お知らせ済み (その後、原子炉が冷温停止状態となったため、運転上制限の逸脱から復帰) 7月21日仮復旧済み(7月21日お知らせ済み)
		・ タービン建屋ブローアウトパネルの外れ。	7月18日お知らせ済み 7月20日仮復旧済み(7月21日お知らせ済み)
		・ 所内変圧器 3B 火災。	7月16日10時15分所内変圧器 3B 火災発生確認～12時10分鎮火。(7月16日お知らせ済み)
		・ K-3/4 低起動変圧器(3SB)放油管より油漏えい。	漏油量は不明、漏えい継続中、漏えい継続中のため低起動変圧器停止。(7月17日お知らせ済み) 7月23日漏えい停止を確認
		・ 励磁電源変圧器基礎部、電源母線のダクトズレあり。	ズレの大きさなど調査中(7月19日お知らせ済み)
4号機	運転中	・ 地震に伴い原子炉自動停止。	7月16日お知らせ済み
		・ B系山側復水器水室連絡弁のつなぎ目(エキスパンション： <u>ゴム製</u>)に亀裂があり海水が漏えい。	亀裂の長さ約3.5m、漏えい量約24m ³ (7月17日お知らせ済み)、19日漏えい停止。
		・ 使用済み燃料プール内の水中作業台の使用済み燃料貯蔵ラック(使用済み燃料あり)上への落下。	プール水の放射能分析により燃料への影響がないことを確認(7月20日お知らせ済み)
		・ 変圧器防油堤の沈下、大きな傾斜(一部目地部の開き)。	目地開き：1箇所、最大20cm(7月19日お知らせ済み)
5号機	停止 (定検中)	・ No. 4ろ過水タンク水漏れ。	漏えい量約900m ³ 、漏えい停止、放射能なし。 (7月17日お知らせ済み)
		・ 取水設備スクリーン洗浄ポンプ起動不可。	7月17日お知らせ済み
6号機	停止 (定検中)	・ 低起動変圧器(6SB)油漏えい。	漏えい継続中(少量)のため低起動変圧器停止(7月17日お知らせ済み) 7月23日漏えい停止を確認
		・ 使用済み燃料プール内の水中作業台の固定位置からのはずれ。	下部に使用済み燃料貯蔵ラックがあるがワイヤーにより支持。対応検討中。(7月19日お知らせ済み)
7号機	運転中	・ 地震に伴い原子炉自動停止。	7月16日お知らせ済み
		・ 原子炉隔離時冷却系、残留熱除去系(A)(C)水密扉の水密性が低下。	7月17日お知らせ済み
		・ 変圧器防油堤の沈下、外側への傾き、目地部のズレ、目地部の開き、目地部の段差。	目地開き：2箇所、最大4cm(7月19日お知らせ済み)
		・ 使用済み燃料プール内の水中作業台の使用済み燃料貯蔵ラック(使用済み燃料あり)上への落下。	プール水の放射能分析により燃料への影響がないことを確認。(7月19日お知らせ済み)

プラント 名等	地震前	地震発生当時の状況	現在の状況
開閉所	-	・ 5 0 0 K V 新新潟 2 L 停止。	7 月 16 日お知らせ済み
		・ 5 0 0 K V 新新潟 2 L シャ断器付近から微量のエアリーク。	ゴムバンドで応急処置終了（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 5 0 0 K V 南新潟 2 L 黒相ブッシング油漏れ。（ 南新潟 2 L 停止）	漏油量は不明、漏えい継続中（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 東側法面一部滑り出し。	幅約 10 c m のひび割れ（ 7 月 19 日お知らせ済み）
固体廃棄物貯蔵庫	-	・ 固体廃棄物貯蔵庫内のドラム缶数百本が転倒し、内数十本のドラム缶の蓋が開いていることを確認。	固体廃棄物貯蔵庫内の空気中放射性物質濃度を測定（ 4 箇所）した結果、放射性物質は検出されず。転倒したドラム缶から水が漏えいしていることを確認。漏えい量は 16 リットル、放射能なし。拭き取りを実施。（ 7 月 18 日お知らせ済み）外部環境への影響はなかったと判断されるが、念のため、貯蔵庫の全給排気口の目張りを 7 月 20 日に実施済み。（ 7 月 21 日お知らせ済み）
事務本館等	-	・ 事務本館常用電源断、緊急時対策室電源等は非常用電源より供給。	緊急時対策室電源のみ非常用電源より常用電源に復旧（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 事務本館・情報棟の構造部材（柱、はり）は問題なし。つなぎ目（エキспанション）破損、ひび多数、ガラス破損多数、屋上の空調室外機破損、防水槽破損、ダクト落下、調理器具落下。	7 月 17 日お知らせ済み
構内 / その他	-	・ 荒浜側避雷鉄塔斜材一部破損。	主材については破損は認められず（ 7 月 18 日お知らせ済み）
		・ 重油タンク防油堤で目地の開き（貫通）。	7 月 18 日お知らせ済み 7 月 20 日復旧済み（ 7 月 21 日お知らせ済み）
		・ 土捨て場一部崩落（北側斜面）等。	7 月 17 日お知らせ済み
		・ 飲料水タンク漏れ（タンク内空）。	7 月 17 日お知らせ済み
		・ 消火設備 合計 5 箇所配管損傷 漏水。 K K - 1 原子炉建屋 北東 K K - 1 タービン建屋 西側 K K - 1 軽油タンク近傍の消火栓付近 K K - 2 サービス建屋への供給ライン K K - 2 熱交換器建屋への供給ライン	KK-1 原子炉建屋 北東 7 月 18 日復旧済み（ 7 月 19 日お知らせ済み） KK-1 タービン建屋 西側 7 月 20 日復旧済み（ 7 月 21 日お知らせ済み） KK-1 軽油タンク近傍の消火栓付近 7 月 19 日復旧済み（ 7 月 19 日お知らせ済み） KK-2 サービス建屋への供給ライン 7 月 17 日復旧済み（ 7 月 19 日お知らせ済み） KK-2 熱交換器建屋への供給ライン 7 月 20 日復旧済み（ 7 月 21 日お知らせ済み）
		・ 環境ミニコン（ 1 号機サービス建屋）県テレメータ等伝送不能。	県テレメータ伝送のみ 7 月 17 日 15 時 40 分復旧（ 7 月 17 日お知らせ済み） 7 月 18 日 18 時に全て復旧。（ 7 月 19 日お知らせ済み）
		・ 構内道路、寸断箇所あり。構内の海側、屋外で液状化。	現在通行可（ 7 月 17 日お知らせ済み）

プラント 名等	地震前	地震発生当時の状況	現在の状況
構内 / その他	-	・ 進入路（踏線橋高町橋）段差 5 0 c m程度、通行不可（補修開始）。	現在通行可（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 南北放水口護岸沈下。	7 月 17 日お知らせ済み
		・ 取水路開梁護岸 目地開きひび発生。	ひびの大きさ最大約 8 cm（ 7 月 17 日お知らせ済み）
		・ 重油タンク用泡消火設備の現場盤損傷。	7 月 19 日復旧済み（ 7 月 17 日お知らせ済み）

- < 参考 >
- ・ 当所における地震発生から現在までのけが人の発生状況 計 7 名 （ 7 月 18 日お知らせ以降変更なし）

- < その他の情報 >
- ・ 原子炉内に燃料が装荷されている 2 号機から 7 号機について原子炉内の水を分析した結果、原子炉内の燃料に損傷がないことを確認。
 - ・ 主排気筒からの放射性物質の定例の測定を 1 ， 2 ， 6 号機において実施し、放射性物質は検出されなかったことを確認。
明日 3 ， 4 ， 5 号機実施予定。